

第13回ベイタウンまつり (5月15日) ガイドマップ

時間は10:00~16:00 雨天順延です。
9:00以降は会場内への車の進入は禁止です。

バレンタイン通り5番街前
こどもサイクルリサイクル



こどもサイクルリサイクル

模擬店とフリーマーケットの一部、
外車展示は今年はありません。

イベントひろば

- 10:00~ ベイタウンまつり開会式
- 10:30~ 「ダンススケッチ」(キッズダンス)
- 11:00~ 「クラブランド」(ヒップホップ)
- 11:30~ 「幕張Heart'S」(よさこい)
- 12:00~ 「M☆Splash!」(マリーンズ)
- 12:45~ 「打瀬子供ルーム」(キッズダンス)
- 13:00~ 「マカロニ&カラット」(手話)
- 13:30~ 「MAKUHARI・ミルクートワラズ」
- 14:00~ 「クラブランド」(ヒップホップ)
- 14:30~ 「M☆Splash!」(マリーンズ)
- 15:00~ 「モアニ ケアラ」(ハワイアン)

フードエリア

模擬店が出店し、丸テーブルと
椅子を80席分設営します。
バーベキューはできません。

フリーマーケット (プロムナード)

コロラド前~11番街前
バレンタイン通り5、6番街前に170店が出店
します。出店される方は商品を8:50までに
搬入してください(奇数番は7:50から、偶数番
は8:20から)。

模擬店

やしそば、カレー、
ポップコーン他34店

ベイタウンニュースからのお願い

第13回ベイタウンまつりのスナップ写真を募集しま
す。採用分は来月号のベイタウンニュースに掲載さ
せていただきます。お子さんやお友達との記念にど
うぞ。メールでベイタウンニュース松村
(mazmbtn@gmail.com)までお送りください。

第5回ハーモニーフェスタ

開場13:30 開演14:00 雨天でも開かれます。
場所:コア音楽ホール
出演団体:
吹奏楽「打瀬中学校吹奏楽部」
「ベイタウン・フルートアンサンブル」
ジュニアコーラス「フェアリーズ」
混声合唱団「コア・チェンバーシンガーズ」
混声合唱「幕張総合高校合唱団」(特別ゲスト)

コアのお茶席 (立礼席)

時間:10:30~15:00
参加費:大人200円、子ども100円(お菓子つき)
場所:ベイタウン・コア中庭



ベイタウンで踊り続けて 10 年！

（「ダンススケッチ」10周年記念投稿）

「ダンススケッチ」をご存知ですか？ 10年前にベイタウンに誕生したダンスサークルです。10年前はどんな年だったでしょうか。20世紀の最後の年。ベイタウンでは、まだ、コアもなく小学校も一つしかなくて、今から思えばまだまだあちこち空間がありました。いろいろな絵を描かれるのを待っている真っ白な空間が。

「ダンススケッチカンパニー」は幼稚園児から大人までがメンバーのジャズダンスカンパニーです。代表の田島純子さんが1997年に東京都豊島区でスタートさせました。田島さんは、アロックダンスドラマカンパニー、劇団飛行船などでの経験を経て、「子供たちにダンスを教えたい」という夢を実現するためにダンススケッチを始めたのです。

なぜ豊島区のダンスカンパニーがベイタウンに？ それは、豊島区からベイタウンに引越した生徒の一人が田島先生にダンスを習い続けたいとうったえたのがきっかけでした。「私は習いたいという子供がいるならどこにでも行くわよ！」と目をキラキラさせて話す田島さんの姿に、「その夢に便乗したい」とその子のお母さんは感じ、生徒集めに奔走しました。当時小学2年生だったその子は高校3年生の今もダンススケッチで踊っています。

2000年4月に発足したダンススケッチベイタウン支部は、翌年3月の大雪の日に初めてのミニコンサートを行いました。幼稚園生から小学校3年生まで22人での船出でした。今では、幼稚園生から高校3年生、そ

して成人のチームを加えて80人以上の規模に成長しています。事務局を務める今津さんと溝口さんは、「ベイタウンに温かく見守られ育てて頂いた10年間だったと実感しています。ベイタウンコアや集会所は、ダンススケッチの子供たちにとって本当のホームタウンです。保護者の方々の全面的なサポートや地域のさまざまなイベントに参加させて頂けることこそがメンバーの大きな励みです」と語ってくれました。

ステージでは波乱もあります。舞台が狭い美浜ニューポートリゾートでは池に落ちそうになりながら踊ったこともありました。ヴィヴィッドスクエアのクリスマスイベントではサンタの衣装で踊り、トライアスロンの応援は雨も湯気になるほどの気合を出して、ベイタウン祭りでは友達が見てくれるのが嬉し恥ずかしで、寒い東京マラソンは豚汁を楽しみに旗を振り応援しながら踊っています。いつもダンスを心底楽しんでいるダンススケッチですが、メンバーのダンスへの取り組みは非常に真面目です。先生方の指導は時に厳しく時に優しく、一年半に一回開催する発表会は真剣勝負です。「演技をお客さまに見て頂く時にはとても緊張しますが、熱心な練習を経て成長した子供たちをステージの上で見ることができるのは最高の喜びの瞬間です」と田島先生は語ってくれました。2008年には池袋の東京芸術劇場で一般公演も実現しました。広島への原爆投下を素材にした芝居・ダンスの統合パフォーマンスは大きな反響を呼びました。

ダンススケッチは今年も5月15日のベイタウン祭りで楽しいダンスを見せます。ベイタウンで生まれこの街とともに育ったダンススケッチはこれからの10年もさらに成長したいと思っています。

昨年（2019年）の第12回ベイタウンまつりで踊るダンススケッチ。場所はプロムナード6番街前



第一回 打瀬公民館まつり計画 進行中

打瀬公民館は千葉市内でも有数の利用率を誇る公民館だ。利用サークルも多く、ホールがあることから特に文化系のサークルが活発に活動する。ところがベイタウン・コアではいろんなサークルが一堂に集まって成果を発表するようなイベントはこれまで開かれなかった。どこの公民館でも普通は1年に1度「公民館まつり」のようなものが秋に開かれ、地域の文化祭となっている。文化活動が活発なベイタウンで文化祭が開かれぬのはなぜだろう。そう思っていたら先日コアで開かれた会議で「今年は公民館まつりをやろう」という話が出た。

話が出たのは、「公民館運営協議会」がいつも公民館を利用するサークルの代表者を集めて去る3月28日に開いた「公聴会」でのこと。この会は利用者の意見を聞く目的で今年初めて開かれたが、今更ながらこれまでなぜ利用者の意見を聞くようにならなかったのかも不思議だ。

会議のために案内を出したのは打瀬公民館に登録する50以上のサークル。このうち30人ほどのサークル代表がこの会議に参加していた。公民館を利用するサークルは利用する時間も場所も違っているのに、同じ公民館で活動していても顔を合わせるのとは今回が初めてという代表も多かった。

会議では公民館への希望として「調理室以外の場所での飲食ができない」、「工芸室の机が重く会議には不向き」、「ホール音響設備が使いづらい」など使い勝手の面からの要望が出されたが、大半は利用者同士で調整し合うことで解決できるものだった。この中で他の公民館でも活動する機会の多いサークルの代表から、「千葉市内の他の公民館ではだいたい秋に「公民館まつり」のようなものが開かれ、それが街の文化祭になっている。ベイタウンでも文化祭を開いてはどうか」という提案がなされた。

この提案でこれまで初対面で少し重苦しか

った場の雰囲気が一気に変わった。言われてみれば確かにベイタウンでは文化祭のようなものは開かれていない。ベイタウンまつりは最初の頃はフォーラムのような催しもあったが、その後なくなってしまい、今はフリーマーケットとイベントが中心だ。「ハーモニーフェスタ」は合唱中心で文化祭と呼ぶには規模が小さい。大規模な発表の場を作ればサークル活動の目標にもなる。期間はどうしよう。ここはサークルの数も多いから展示系と活動系で分けて2、3日かけて文化祭をやったらどうか。予算はどうする。連合会が応援してくれないか。と明日にも文化祭を開くような盛り上がりとなった。

本来は公民館への要望を聞くための公聴会という目的の集まりだったが、これだけ公民館まつりへの期待が高まれば、会議は「第一回 打瀬公民館まつり準備委員会」に早変わり。早速この秋に文化祭を開くため具体的な話し合いを6月26日（土）に開くことになった。

記者が選ぶベイタウンの逸品 Vol.6



洋

和食

場所：パティオス 2 番街

営業：11：30～14：00

(ランチ)

18：00～22：00

(ディナー)

定休：毎週水曜日

電話：043-213-0238

ヨーロッパ調の美しい街並みを誇る「美浜プロムナード」、その目抜き通り 2 番街に「和食の店」 「洋」はある。

店の売りはランチ。メニューは大変リーズナブルで税込み 500 円から 800 円という価格設定をしている。その中でも一番人気は親子丼。宮城県のみちのく鶏のもも肉を使っている。有名ではないがブランド鶏肉に負けな

い味を出している。店長のこだわりを感じる逸品だ。吸いものと漬物がついて 500 円。いまだき 500 円でランチが食べられる店は都心を離れた海浜幕張近辺でも珍しい。

このほか、カキフライ定食が 600 円。こちらは販売当初は冬季限定メニューだったが、お客様の要望が多く今は年間を通して提供している。

ディナータイムも単品メニューが 300 円から 500 円が中心。セットの定食もあるので御飯時には母子連れのお客さんが気軽に利用している。

この値段でゆったりとしたスペースでゆっくり食事ができるのはこの街の中でも少ないと店長は自負している。実際、女性や子ども連れで安心してゆっくりと落ち着いて食事ができるお店の雰囲気には固定客も多い。

今年で、開店して 8 年目を迎えるこの店。パティオス 2 番街という美浜プロムナードの中心的な場所にあり、特に若いお母さんたち、シニアの女性にとってこの街の止り木的な存



「みちのく鶏」を使ったランチタイムの親子丼 (500 円)

5月のコア・イベント

5/15
(土)

わくわくおはなし会 5月の常設おはなし会

時間：10：30～

場所：ベイタウン・コア 講習室 (途中入場もできます)

今月もわくわくするおはなし、ゲームを用意してお待ちしています。年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひ来てね！

予約は不要です。* 読み手も募集中、見学歓迎 *

連絡先：井上 (211-0188 wak2@yahoogroups.jp)

5/22
(土)

寺子屋工作ランド

「紙トンボ 竹トンボ」

時間：9:30～

場所：ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの：ハサミ、木工ボンド、小刀 参加費：50 円 (保険料)

5/23
(日)

第 84 回ファツィオリの会

時間：9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」でのピアノ演奏、また他の楽器、歌やアンサンブルの演奏にもご利用いただけます。ご希望で非公開にもできます。申込みはいっぱいになり次第締め切らせて頂きます。最新のプログラム内容は

<http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。申し込み締め切り：5 月 16 日 (日)

連絡先：TEL/FAX271-5260

yasu602@ss.em-net.ne.jp (安永)

在になっている。

実は店のオーナー店長の太田さんはベイタウンの街開きからの住人だ。入居当時お店は出していなかったが、飲食店経営は昔からの夢だったという。いわばこの街でその夢を実現させたという羨ましい太田さんに苦労話や楽しみを伺ってみた。

出身は？

太田：東京都板橋区です。学校を卒業後、関東各地を転々としましたが、結婚して子どもの小学校入学を期にベイタウンに落ち着きました。

お店を開いたきっかけは？

太田：学生のころから飲食店の経営を目指していました。大学卒業後大手外食店に就職しましたが、家庭を持ち子供を育てられる労働環境でないと思ったので 3 年で退職。その後、厨房機器販売会社に転職してスキルを積み、夢であった飲食店経営をベイタウンで始めました。

和食なのに、なぜ店の名前が「洋」？

太田：「洋」は、大海原の意味で、海の幸をふんだんに使った料理を提供しようと考えつけました。将来はもっとメニューを増やし、いろんな料理を街のみなさんに味わっていただきたいと思います。

いろいろなお客様がいるでしょうね？

太田：料理を作っているとあまりお客様と話す機会がありませんが、カウンターのお客様とはたまにお話をします。この街のことは教育環境から駐車問題まで様々な考えがあることを感じます。良いお客様というやっばりたくさん食べてくださるかたかな (笑)。

趣味は何ですか？

太田：映画鑑賞でしたが、店をもってから映画一本もまともに見られないのが現状です。途中で寝てしまいます。

苦勞することは？

太田：世界的な経済不安に伴い、当店も厳しい経営を続けていますが、悩んでいても何も解決しないこと。能天気です。

取材を終えて帰る道すがら、店長の若いころからの大きな夢が一日も早く実ることを祈念しました。開店 8 年目を期に、近々、大幅なメニューの変更も予定しているとのこと、みなさん今後の和食「洋」に大いに期待してください。【落合】



落ち着いて高級感もあるカウンター席。スペースも広くゆったり食べられる

打瀬小学校 新校長に聞く

満開の桜の下、多くの新一年生が入学を迎えた4月、今年創立16周年となる打瀬小学校は、千葉大学付属中学の副校長であった根本進先生を校長として迎えました。打瀬小が創立時からベイタウンの街づくりに果たして来た役割を考えると、その校長先生が替わられるということは地域にとっても大事件。早速インタビューをお願いしたところ、快く受け入れてくれました。

【城本】

— 打瀬小の印象はいかがですか

根本：子どもたちも先生方もものびのびと明るく元気で、自由な校風を感じました。このような雰囲気は附属中と似ているように思います。また、ベイタウンという街全体にも言えることですが、打瀬小の子どもたちにはどこか都会的なセンスを感じます。

— 打瀬小をどのような学校にしたいと考えていますか

根本：子どもの教育は「知育、徳育、体育」と言われていますが、打瀬小が特に重視しているのは「徳育」、つまり心の教育です。この徳育は、友達との関わり、学校行事への参加、地域との交流などによって育まれるものです。今後も素晴らしい伝統を受け継ぎ、徳育教育に力を入れていきます。また、子どもたち皆が様々な場面でリーダーシップを発揮できる環境を作りたいと考えています。大人になったとき、誰にでもリーダーの役割が回



ってくる可能性があります。子どものうちから一人ひとりをリーダーとして育成することが学校の役目なのです。

— 中学受験や子どもたちの塾通いについてはどう考えていますか

根本：私は一般教員時代、よく保護者から「子どもを塾に入れた方がよいか」と質問を受けていました。当時から、学校と塾の関係は教師にとって大きな課題であると思っていました。打瀬小は半分以上の子が中学受験をし、塾に通っている子も多くいます。他の千葉市の学校は学年の1割程度しか受験する子がいないことを考えると、打瀬小は「特殊な環境である」と思います。ですから、学校にしかできないような教育に特に力を入れていくべきだと考えています。例えば理科の実験等を重視したいと思います。

— 打瀬小の子どもたちに望むことは何ですか

根本：自分の価値を見つげられる人間になっ

てほしいと思います。子どもたち一人ひとりに個性があり、得意なことがあります。それを自らが自覚できるようになってほしい。また、15年後、20年後に自分はどのような生き方をしていたかという「夢」をもって生活してほしいと思います。中学受験はゴールではなく、その先には高校、大学、社会人生活という長い人生が待っているのですから。

— 学校として地域社会に望むことは何ですか

根本：「学校、家庭、地域」が一緒に一人の子どもを見守っていくというのが教育の真の姿です。地域の方々の学校行事への参加、子どもや教職員の地域行事への参加を充実させ、学校、家庭および地域の連携した教育を目指していきたいと考えています。「21世紀の日本を背負って立つ子を皆で育てる」というのが理想です。

取材を終えて

今回の取材を通し、根本先生の穏やかで優しい人柄を感じることができました。記者の質問に対して言葉を選びながら分かりやすく答えていたことが印象的です。打瀬小の校長は、保護者のみならずベイタウンの住民皆が注目する存在です。地域との連携した教育を目指したい、という先生の考えには多くの住民が賛同することでしょう。今後は、学校と地域が歩み寄り、「街の子を皆で育てる」という意識を持つことが大切です。それが、街の文化と教育レベルの向上につながるのではないのでしょうか。

ベイタウン花探しウオーク

ベイタウンの街路樹調査や花壇づくりを行っているボランティアグループ「ベイタウン・グリーンサム」に、3人の中学生メンバーが加わりました。4月11日(日)には彼らも参加して、ベイタウンニュース3月号に掲載された、ミニ花壇マップを参考に、ベイタウンの花探しウオークを行いました。当日は予想外の好天に恵まれ、桜もまだ花をいっぱいつけてメンバーを待っていてくれました。以下は中学生メンバーのコメントです。



花見川通り沿いの街路樹植え柵

【サウスコート横】ノースポールが満開、オレンジやピンクの花もあってカラフル。

【アバンセ横】ノースポールが街路樹を囲んでぐるっと植えてあった。

【ヒルトップ横】手入れがよく、オレンジの花や黄色のオキザリスが計画的に植えてあった。ヒルトップにはまだこぶしの花が!

グランエクシアの花壇

グランエクシアには「手づくり花壇」があつてきれい!ハナニラの葉の匂いはニラと同じ匂いがする。食べられる?ヒメツルニチニチソウに色違いがあるのを初めて見た!



打瀬小学校

桜が満開で花びらが風に舞ってきれいだった。4本並んでいるのが見栄えがする。



上は花盛りの二丁目公園花壇。

右は第3公園花壇、リクニスより柔らかいラムズイヤーを発見! 下は植物を観察する中学生メンバー。



ミッドランドパーク内の花壇

小さい桜の木が花壇に植わっていた。ほかにダイコンの花、リクニス(これはふわふわでウサギの耳みたい!),色あざやかなチューリップがきれい。エコパークに新しく畑ができていて、野菜や麦が植えられていた。



グリーンサムでは、6月13日(日)に毎年行っている「街路樹調査」を行います。午前10時~12時(予定)。公民館前に集合。また、当日は打瀬中学校横の緑地で花壇のお世話もします(午前中)。遊びに来てください。19番街の方、近いですよ!